

第22回 B to B 広告テクノコピー賞 パナソニック電工 課題企業賞

1,000,000 \$ の夜景を 200,000 \$ の夜景に

「百万ドルの夜景」という輝かしい言葉が最初に使われた地、神戸。
そのいわれは戦後まもなく、六甲山から眺めた神戸の電灯1ヶ月の電気代が、
当時の換算でおよそ百万ドルだったことからきています。
この場所に行くといつでも楽しめる、きらびやかに輝く夜景。
でも、その美しい夜景も
多くの電気代や電力消費によって作られているのです。

パナソニックの LED 照明器具なら電気代は **1/5**、CO2 排出量 **80%削減**。

つまり電気代と CO2 排出量の大幅削減につながります。また、長寿命なので電気廃材の減少、熱線・紫外線はほぼゼロ、優れた演色性で自然光に近い色を再現。地球や人、空間に優しい社会の実現を目指した次世代のあかりです。

美しい景色は後世にも残したい。
それも費用も環境負荷も少ないかたちで。

「百万ドルの夜景」も
時代に合った輝きで楽しめると、より美しくなると思いませんか。